

# 平成28年度

## 学校教育の重点

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

### 京都市立松ヶ崎小学校教育目標

自ら主体的に学ぶ子・命を大切にする子・地域を愛する子

#### 目指す学校像

- ・子どもが楽しく登校する学校
- ・家庭・地域と連携し子どもを育む学校

#### 目指す教職員像

- ・一人一人の子どもを大切にする教職員
- ・子どものために一生懸命取り組む教職員

#### 目指す子ども像

- ・知・徳・体のバランスの取れた子ども
- ・目標をもつ子ども
- ・人権を大切にする子ども

## ◎教育目標の具現化に向けて

### ○「確かな学力」

- ・「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりを目指す。
- ・主体的に学習に取り組む能力を身につけさせる。
- ・すべての教科・領域において、コミュニケーションの育成を意識し、話し合い、討論会、プレゼンテーション、ポスターセッション等、工夫した設定の場を設定する。
- ・図書メディアセンターを自ら学ぶ「学習・情報センター」豊かな感性や情操を育む「読書センター」として活性化させるとともに、学習情報源として新聞等を計画的に利用させ子どもの主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させる。
- ・個々の子どもの課題を明確にとらえ、個に応じたきめ細やかな学力向上の取組を推進する。
- ・探究活動を充実させる。

## ○ 「豊かな心」

- ・道徳教育推進教師を中心に、全教職員による校内体制を確立し、「しなやかな道徳教育」の実践を推進する。道徳の時間については、各時間のねらいを明確にし、多様で効果的な指導方法を工夫して充実を図る。
- ・規範意識を育成する。

## ○ 「健やかな体」

- ・生涯を通じて自分の健康を適切に管理して、改善していく資質や能力を育成する。
- ・食生活の改善に向けた意識・関心を培う取組を進め、食育の充実を行う。
- ・日常生活の様々な危険から、自分を守るために安全教育の取組を推進する。

## <学校運営で大切にしていくこと>

### ○ 子どもの命を守りきる

- ・子どもの命を守りきる教職員体制を徹底する。

### ○ 教職員の専門性を高める

- ・教員は「公開授業」を積極的に行い、自己研鑽に励む。特に若手教員は、研修会などに積極的に参加し、レベルアップを図る。

### ○ 保護者・地域との連携

- ・学校・家庭・地域が協力し地域の子どもは地域で育てるといいことを明確にし、互いに協力して子どもの成長を育む。

### ○ 学校評価システムの活用

- ・学校評価システムにより、学校の良さや課題を見つけ、課題改善に取り組む。

### ○ 人権教育の基盤を築く

- ・人権文化の担い手となる子どもを育成する。
- ・障害者差別解消法の中身を踏まえ、障害のある子どもの「困り」に対する具体的な取り組みを促進する。

### ○ 生徒指導の充実

- ・3つの「あ」の励行 「あいさつ」「あんぜん」「ありがとう」
- ・「見逃しのない観察」「手遅れのない対策」「心の通った指導」
- ・「社会で許されない行為は、学校においても許されない」という毅然とした態度で接し規範意識を育成する。